



地層ちそうはなぜはばがちがうの

地層ちそうをつくっているものや、できた時代じだいがちがう

がけや切り通しでは、たくさんの層そうが重なった、しかもようが見られます。このしかもよ
うの一つひとつ、または、全体を地層ちそうといいます。地層ちそうをつくっているものは、ねん土、砂
や小石、岩石のようにそれぞれちがっています。

地層ちそうは長い時代じだいをへてつくられていきます。ふつう、下したにあるものほど古い時代じだいにできた
地層ちそうで、新しい地層ちそうは、その上に積み重なってできていきます。しかし、地震により、地層ちそう
がずれてしまった断層だんそうの近くや、しゅう曲きよくとよばれる、地層ちそうが曲がっている所では、
年代順ねんだいじゆんに地層ちそうが重なっていないことがあります。そして、地層ちそうが同じものからできていな
いのと、地層ちそうによって、できる時代じだいがちがうので、一つひとつの地層ちそうのはばあつ(厚さ)が、厚
かったり、うすかったりして、いつも同じにはなりません。

地層ちそうはふつう海うみの中でつくられる

川は、ねん土、砂、小石などを海うみに運びます。運ばれたものの中で、いちばん重い小石は
河口近く、ねん土はいちばん沖合おきあいに、砂はその手前てまえに積みもります。このように、つぶの大き
さや重さによって積もる場所がちがいます。

海の水が増えて河口が陸の中へ入りこんだとき、ねん土、砂、小石が積もる場所は、前の
場所とちがってきます。このようなことが、長い年月の間ながにくり返されて、地層ちそうが積み重な
っていきます。

海底でつくられた地層ちそうは、地球の内部の大きな力ちからのはたらきなどにより、海底が盛り上が
って地上ちじょうに現あらわれます。地層ちそうは、ふつう、このようにしてできます。

(監修・国司 真)

